

浜松市中区新津町の総合建設業「常盤工業」敷地内に建設中の浜松いわた信用金庫野口・曳馬支店の工事現場を覆う仮囲いに、静岡文化芸術大生によるアートが施されている。地元の学生に文化の発信や実践の機会を提供しようと同社などがデザインコンペを企画した。

店舗新築現場にアート

浜松いわた信金 野口・曳馬支店

同の大学院でデザイン
を学ぶ7人が、高さ2m、

長さ約20mの仮囲い2面を
彩色のデザインを制作。10案
の中から、1年の王柯涵さ
ん(26)の作品「遠州の恵み
はカツオと浜松いわた信用
金庫」が採用された。

カツオの群れが太陽の光
へ向かって泳ぐ様子を同信
金コーポレートカラーの
青、緑、黄色のグラデーシ
ヨンで爽やかに表現した。
教員や他の学生と意見交換
しながらデザインを練り上
げたという。王さんは「自
分の作品が現実になつたの
は初めて」と笑顔を見せた。
仮囲いは10月中旬まで設
置される。常盤工業の市川

浩透社長は「コロナ禍で閉
そく感がある中、カツオの

群れが明るい場所へ地域を
引っ張ってくれるようだ」と話した。
(浜松總局・土屋咲花)



建設現場を明るく彩る仮囲いと、デザインを考案した王さん
(右) =浜松市中区

